提出順番	No. 5	令和 8 年 2 月 26 日 午前・午後 3 時 51 分受領

令和８年２月26日

幕別町議会議長　寺林　俊幸　様

幕別町議会議員　酒井　はやみ

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨
1　外国人住民との共生について	本町では外国人住民が10年前に比べて約５倍になっており、地域社会の一員として暮らし、地域経済の担い手となっています。 一方で、言葉の壁や生活習慣の違いから、地域との関わりが十分に築かれていない場合もあります。また、全国的には差別的言動や根拠のない情報の拡散などが社会的課題として指摘されており、共生社会の基盤をどのように築いていくかが問われています。 憲法が保障する基本的人権は、国籍にかかわらず尊重されるべきものであり、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進める上で、町の姿勢と具体的な取り組みが重要であると考え、以下について伺います。 ⑴　外国人への差別的言動や排外主義的な動きに対する町の見解は。必要な啓発をどのように行っていくのか。 ⑵　外国人住民の主な就労分野は。また、今後の動向の見通しは。 ⑶　生活相談体制や、多言語・やさしい日本語での情報提供の現状と課題は。 ⑷　外国人住民が地域活動や町内会活動に参加するための支援策は。

2　防災を通じた地域コミュニティづくりについて	町内会加入率の低下や担い手不足が広がる中、地域コミュニティの維持が大きな課題となっています。災害が頻発する今日、命を守る基盤となるのは日常からの顔の見える関係であり、防災の取り組みは地域のつながりを強める重要な契機になると考えます。 一方で、各町内会での活動には人的・体制的な限界もあります。持続可能な地域防災体制の構築、さらには地域コミュニティの維持・活性化に向けては、行政による継続的かつ実効性ある支援が重要であると考え、以下について伺います。 ⑴　町内会単位での防災訓練の実施状況と課題は。また、未実施の町内会に対する支援をどのように考えているか。 ⑵　複数の町内会による合同防災訓練や防災に関する出前講座について、町として計画や支援をする考えは。 ⑶　防災を契機とした取り組みにとどまらず、町内会をまちづくりの基盤としてどのように位置付けているか。また、町内会が相互に経験を学ぶ機会や課題相談を行う仕組みの整備を含め、今後の町内会支援についてどのように考えているか。

（注）質問の要旨は、具体的に記載すること。